

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市東四郎丸児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 15,376人 (前年度比 91.0%) 平成29年度 16,891人 平成28年度 15,651人 平成27年度 14,855人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 24,169千円 (26,558千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、にこにこ児童館応援隊、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、ランチ作りから防災・減災の取組みに至るまで多様な活動を提供し育成支援に取り組んでいる。月1回放課後子ども教室と連携行事を実施し、交流や活動の場を広げ、町内会長等と共に地域について知る「まち探検」や「探検マップ」作り等を行っている。保護者懇談会では、子どもの音楽発表や、親子ロング海苔巻作りを行うなど、親子の関わりを深める場を設けるほか、クラブ通信を毎月発行し、育成支援の状況や子どもの様子について適切に情報提供を行うなど、互いに子どもの様子を伝え合う関係作りに努め、家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。	19/19

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%; text-align: center;">加点評価</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>		加点評価	—
加点評価	—		

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家）による自己評価》
<p>児童館運営の4柱を念頭に、学校・家庭・地域の連携を重視して、子ども・子育て応援社会の実現を目指し、「子どもの居場所」としての児童館運営に取り組んだ。</p> <p>児童健全育成事業としては、地域の4小中学校と連携し、袋原中フェスティバルや敬老会などでの演奏により地域の皆さんを笑顔にしている「かっこ和太鼓隊」の活動を、袋原中学校区学びのコミュニティ事業事務局として継続して行った。また、月1～2回東四かっこ放課後子ども教室とコラボしている様々な体験を企画しているが、今年度は町内会や防犯協会の方々も一緒にまち探検してマップ作りをした結果、2年連続全国で佳作を受賞した。子どもたちが地域を元気にし、コラボ事業は地域交流推進の一助となっている。</p> <p>児童クラブ事業や子育て家庭支援事業では、家庭福祉の視点で子どもたちの自己肯定感の向上と親子をつなぐ家庭教育のあり方を児童館運営に反映する試みを行った。児童クラブの子どもの可能性を引き出す取り組みとして、子どもボランティア「チームかっこ」、地域の高齢者施設との交流「にこにこひろば」、保護者会や校長先生、地域の方々と行うクリスマス会で、子どもたちは活動報告や音楽隊の発表などを行った。自分の思いで子育てをしている保護者もいるので、子どもたちの良いところや望みを保護者に伝えるとともに、子どもたち自身が気づかない自分の良いところを知り自己肯定感を持てるよう、進級お祝い会で「友達におもちゃをかしてあげたで賞」などの表彰をした。また、東北福祉大学健康科学部と連携し、「生き生きと生きる力、育む力を支える～にこにこ・ママクラス」ワークショップの開催や、児童発達支援センター袋原たんぼぼホームには乳幼児親子対象の「にこちゃんルーム」でのサポートを、四郎丸地域包括支援センターには「認知症サポーター」講座を行っていただき、新たな子育て・子育て応援に取り組んだ。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>中学校区の3小学校1中学校と連携して和太鼓活動を行い交流を図るほか、小学校の授業の受け入れへの協力、放課後子ども教室と連携した小学校へのハロウィン訪問など、学校や教職員と日常的に交流を深め、子どもに関する情報を共有することにより、連携した育成支援に取り組んでおり評価できる。</p> <p>子どもの安定した日常の生活への支援として、遊びやくつろぎ、居場所、大人の助けなど、子どもの求めに応じた場の提供に取り組んでいる。多様な出会いの場として、高齢者施設訪問や利用者を招待しての交流、震災復興支援企業との交流等の機会を提供し、子どもの興味を広げ社会性の向上等を図るなど健全育成に取り組んでいる。また、子どもの育ちに関するネットワークを推進し、近隣児童館、区家庭健康課、保健センター、児童発達支援センター等と連携し共催行事を実施するほか、障害児の保護者支援、父親が子育てに関わる活動支援、社会福祉協議会との連携等により、地域で子どもを見守り、子どもと子育て家庭を支える環境づくりに取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室